

都 技 生 涯 研 修 応 用 講 習 会 IV

【重要なお知らせ】

本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士

【申込開始日】

- 東京都歯科技工士会会員 : 1月16日(木) AM10時～
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 1月18日(土) AM10時～

* 受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

【申込方法】

① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

* 定員になり次第締切といたします。



申込用

【LINE 公式アカウント登録のお願い】

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技ではLINE公式アカウントを設けています。LINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



都技LINE公式
アカウント二次元コード

【お問い合わせ】

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail: togi-info@to-ginet.com

2024 年度 応用講習会IV

オンラインセミナー

補綴治療を成功に導くために 必要なデジタル技術

河村 昇 先生

鶴見大学歯学部歯科技工研修科 講師



Tokyo master course Science Lecture

【開催日時】
2025年 2月16日(日)

入室 12:40
開始 13:00 → 終了 17:00

オンラインセミナー

定員 80名

参加費 無料

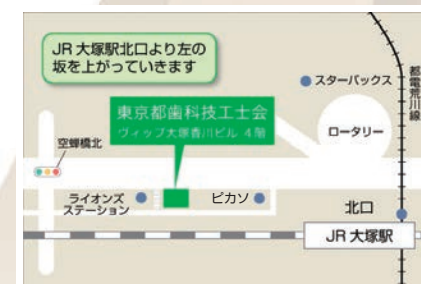
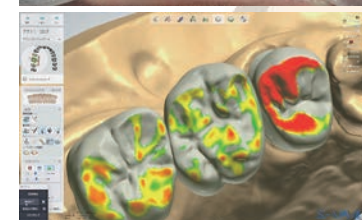
会場受講

*オンライン環境がない方は会場参加可

定員 10名

参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

都 技 生 涯 研 修

補綴治療を成功に導くために 必要なデジタル技術

補綴装置を口腔内で長期的に維持安定させるためには、口腔の機能に調和し、壊れない強度で口腔内に適合し維持する補綴装置の製作が必要となります。今までは印象採得や咬合採得、咬合器装着や補綴装置の製作など、術者の経験、知識、技能などにより適合や咬合の精度が変化していました。また天然歯の色調再現についても同様で、測色機やデジタルカメラの画像情報から、シェードマッチングするなど経験や技術力に大きく左右されます。

しかし、デジタル技術はアナログとは少し異なり、技工経験の浅い若手歯科技工士でもデジタルを用いてジルコニアクラウンやCAD/CAM冠、義歯の製作が可能です。本学でも4月から研修生（歯科技工士国家試験を取得した卒後研修生）の実習に取り入れています。スマートフォンやパソコンに普段から触れてきた学生はすぐに65点をとるレベルの補綴装置の製作が可能です。そこに臨床で必要なノウハウを教育することで、時代に合った歯科技工士の育成をしています。デジタル技術は、従来法に比べより高精度で高品質な補綴装置の製作に欠かすことのできない技術となっています。

今回デジタル機器として、IOS (Intraoral Scanner)、CAD/CAMをどのように補綴装置に生かしているか、臨床技工のノウハウを交え紹介いたします。第1部では臨床技工に用いられるデジタル技術と、口腔内で咬合調整量を少なくするための術式について紹介し、第2部では義歯を中心に本学で作られる義歯の形についてお話しいたします。

MEMO

■講師略歴

河村 昇

[かわむらのほる]



鶴見大学歯学部歯科技工研修科 講師

略歴

昭和50年4月 北海道小樽市で生まれる
 平成6年4月 札幌歯科学院専門学校歯科技工士科 入学
 平成8年3月 札幌歯科学院専門学校歯科技工士科 卒業
 平成8年4月 鶴見大学歯学部歯科技工研修科 有床義歯技工専攻 入学
 平成9年3月 鶴見大学歯学部歯科技工研修科 有床義歯技工専攻 修了
 平成9年4月 鶴見大学歯学部歯科技工研修科 助手
 平成23年4月 鶴見大学歯学部歯科技工研修科 副主任
 平成30年4月 鶴見大学歯学部歯科技工研修科 講師/主任

所属学会 及び 社会活動

■神奈川県歯科技工士会 会員 ■私立歯科大学歯科技工士協議会 会長 (2024.10~)
 ■日本歯科技工学会 会員 (評議員) ■日本補綴歯科学会 会員 ■老年歯科学会 会員
 ■日本デジタル歯科学会 会員 ■日本口腔外科学会 会員 ■日本歯科審美学会 会員
 ■日本口腔インプラント学会 会員 ■ITI Study Club 会員